

## 保育計画成果報告書

|         |                                          |
|---------|------------------------------------------|
| 法人名     | 社会福祉法人まあれ愛恵会                             |
| 施設名     | 東浦和たいよう保育園                               |
| 報告者（役職） | 布崎 恵理佳（園長）                               |
| 住所・連絡先  | さいたま市緑区東浦和 4-14-1                        |
|         | ☎ 048-873-2222                           |
|         | E-mail info@higashiurawa.marehoikuen.com |

○タイトル（保育計画）

きれいな音なあにかな ともだちと楽しもう楽器遊び

○主な助成備品

楽器(電子ピアノ・木琴・鉄琴・太鼓など)

### 1. 保育計画策定の目的

当園は平成26年4月1日にさいたま市緑区に開園致しました認可保育園です。開園当初から定員はほぼうまり毎日にぎやかです。早朝7:30から園児たちが順次登園し、9:00までは自由遊びの時間を設けています。朝のご挨拶を終えると子ども達はブロックや、積木、ままごと等の玩具を用いて夢中で遊び始めます。そんな中ふと耳をすませると、歌を口ずさむ園児の声が…。その歌が知っている歌だと自然と2、3人の園児が集まり楽しそうに歌声を合わせる姿が見られました。別の集団では積木と積木を合わせてカチカチ音をならしたり、プラスチックの入れ物にブロックを入れマラカスのように振り、音をだして楽しんでいる子どももいました。最初のきっかけはここからで、楽しむ園児の様子から職員間ですぐに手作り楽器をつくり、クラスでも表現遊びを積極的に取り入れるようにしました。子どもの健やかな成長に『音楽』は欠かせないものであると実感し各年齢の取り組み計画を立てました。





## 2. 具体的な実施内容

保育園に楽器が届くまでの間、保育者と子ども達とで“どのような楽器が届くかな”“どのように音を出して遊ぼうかな”“もうすぐ楽器遊びができるね”等、期待を膨らませてその日を待ちました。そして、園に楽器が届くと早速箱や袋から楽器をだしました。

最初の取り組みとして、園児たちに楽器を頂いたことのお話、使用するど

きの約束、全ての楽器を紹介しました。子ども達は初めて目にする楽器に驚きと、興奮で自然と拍手がわきあがるほどでした。自分たちが使える物だとわかると、保育者の説明や約束事などもウキウキした表情を浮かべ聞いていました。

早速、各クラス自由遊びの時間や主活動の時間を用いて①楽器に触れる時間を設けました。クラスで取り組むときは持ち方や音の出し方等丁寧に指導しました。

園全体では新しく②『音楽集会』と名付けた園行事を月1回開きリズム遊びや、リトミック、演奏会などの活動を行いました。音楽集会ではその月のねらいや計画を明確にしました。また終えた後には必ず反省会を開き、職員間でよかった点や改善点、翌月に向けての話し合いの時間を設けるようにしました。

そして年度末には③発表会を開き、他クラスの子ども達や保護者の皆様にも楽器演奏の様子を披露しました。



### 3. その成果と評価

「2. 具体的な実施内容」の①楽器に触れる時間では各クラス、十分な時間楽器に触れることが出来、どの子どもも満足するような表情を浮かべていました。子ども同士の会話からも、“これは〇〇という名前の楽器”と教え合う姿も見られました。いつしかリズム打ちが出来ようになり、自ら新しいリズムを習得する子もいました。覚えた楽器の名前を教えるのもうれしいようで、保護者の方がお迎えに来ると“今日はこの〇〇でこうやって音を鳴らしたよ”と教える子もいました。低月齢の子ども達は、楽器を目の前に‘なんだろう’という表情で近づき、積極的に楽器に触れていました。楽器の交換や、数が限られている物は順番に使うということも少しずつできるようになりました。またお片付けではきれいに楽器を整頓する事や何個あるか確かめてからしきょうなど、大切に扱う様子も見られました。



②月一回の音楽集会は恒例行事となり、子ども達も毎月楽しみにしてくれています。異年齢児と関わるきっかけになる為、教える姿や、学ぶことも数多くあるようです。企画・進行を職員が行うことで、職員同士の会話も増え他クラスの職員との連携や、園児との関わりが持てる良い機会となっています。反省会を設けることで、前月の反省点や改善点を翌月の計画にしっかり反映できるようになりました。

③発表会は2回行いました。1回目は26年の12月、保育室内にステージをつくり、0歳児から5歳児の全園児と保育者で開催しました。子ども達は他クラスの発表もうれしそうに見ていました。その時の様子は写真に撮り掲示し保護者の方にも見て頂きました。2回目は27年3月に保護者の方にも見てもらえるように企画しました。数か月前から楽しみにする子ども達と、毎日少しずつ楽器演奏の練習することで2つの発表会共に大成功でした。

### 4. 今後の課題と展望

助成金で買わせて頂いた備品の他にも、園で楽器を購入し種類を増やしました。同じ楽器で楽器遊びをするにも年齢により興味を示すものが異なり、扱い方にも違いが見られます。使用する楽器に偏りがみられないよう、保育の仕方、環境構成の見直しをしていきたいと思います。また、年齢が上がるにつれて演奏の難易度も変化していきます。子ども達に楽器遊びの楽しさを伝え、年齢にあった指導をする為に保育技術の向上を目指していきたいです。

今回行った2回の発表会は子ども達にとって楽しみの1つになりました。大勢の人に見てもらおうということで長期の目標をたて、実行し達成することで達成感を味わうことが出

来ました。幼児クラスではできなかったこと、苦手だったことにし練習を積み重ねること  
で“できる”ということを経験し自信に繋がったようでした。引き続き園行事の中で音  
楽集会や発表会を取り入れ子ども達にとってより良い環境を整えた保育運営に努めて参り  
たいと思います。

以上